

# 2024年度光赤天連シンポジウム

# 光赤天連の長期的ロードマップおよび若手育成支援

**目的：** コミュニティ全体で日本の長期・大型計画の概要を把握し、どのように推進・実現化させるかの議論の場とする

- ・光赤天連将来計画検討専門委員会にて検討された「光赤天連ロードマップ2025」の中身について光赤天連将来計画検討専門委員会の委員からの報告を聞く。ロードマップに掲載された大規模プロジェクトについて光赤天のコミュニティに説明していただく。
- ・2020年代、2030年代にコミュニティが取り組むべき道筋を見出すために、JWST、VRO LSST、Euclid、Roman Space Telescopeによる大型サーベイによる時間軸天文学、統計的天文学、ビッグデータサイエンスなど、近い将来に実現される研究をコミュニティで共有する。
- ・ポストTMTやすばる3を見据えた議論も行う。
- ・JASMINE、Solar-Cを確実に実現し、次のスペース計画に繋げるために、コミュニティからJAXAに要請を発信する。X線の研究者にも参加していただき、情報交換と議論の場を設ける。
- ・長期計画実現において不可欠な若手育成のために、博士号を取ったばかりの研究者や今年度博士号を取る予定の学生が自身の研究を発表し、コミュニティの中での自分の研究の立ち位置を認識し、発展させていく道筋を見つける機会も設ける。
- ・本シンポジウムは国立天文台との共催とする。

# 日時と場所

- ・ 日時：2024年9月17-19日
- ・ 場所：国立天文台（三鷹）すばる棟の大セミナー室

# 旅費支援

- ・ 2024年度光学赤外線天文連絡会シンポジウム「光赤天連の長期的ロードマップおよび若手育成支援」というタイトルで国立天文台の2024年度研究集会に旅費支援を申請中（70万円）旅費支援は主に若手の支援に。

# 世話人

栗田光樹夫（京都大学），児玉忠恭（東北大学），高田昌広（IPMU），長尾透（愛媛大学），橋本拓也（筑波大学），本田充彦（岡山理科大学），本原顕太郎（国立天文台），石垣美歩（国立天文台），吉田二美（産業医科大学・千葉工業大学）

# 内容

(1) 2020年代の天文学の展望、(2) 現在進行中の計画の現状を把握、(3) コミュニティで議論されている将来計画、(4) 今後の戦略の議論。各セッションで広い視点でレビューできる方を招待講演を依頼し、現状・今後の展望を共有するとともに、大型研究、中小規模計画(人材育成を含む)の戦略を議論する。関連する技術、サイエンスの一般講演を募集する。

# プログラム案

■セッション1: オーバービュー(世界・日本) サイエンスの展望(マルチメッセンジャー天文学、系外惑星、銀河進化など、2030年代の主要サイエンステーマに関するレビュー)

■セッション2: 現在推進中・検討中の計画 TMT、すばる2、その他計画(LSST、Euclid、Roman、HWO、JASMINE、TAO、等)

■セッション3: 各機関・施設の活動報告 せいめい望遠鏡、OISTER、その他各望遠鏡

■セッション4: 「光赤天連ロードマップ2025」 将来計画検討専門委員会からの報告、各大規模プロジェクトの説明、スペースミッションに関してX線コミュニティとの協調について

■セッション5: 人材育成、若手研究発表 学位を取得した学生を中心に研究内容の発表